

平成30年度 学校関係者評価書

1. 学校評価の年次報告について

- ①学校評価に係わる各種アンケートの情報収集は、年次計画通りすべて実施できた。
- ②学校関係者評価委員会の委員は、昨年度の委員の再任である。
- ③学校関係者評価委員会は、6月・11月・3月と年間3回開催した。
- ④学校関係者評価委員会の意見は、職員会議や運営委員会あるいは科会等において各教職員に復伝し、業務改善に努めた。

2. 学校関係者委員からの意見(3回分総括)

- ① 東京大学へ合格した生徒がでたようであるが、世間に対して大きなアピールとなり高水学園への入学者の増加につながると思う。今後とも進路の保証・進学実績の向上を期待したい。また、ゴミが落ちていたら自ら率先して拾うことの出来る公共心を持った生徒を育ててほしい。
- ② 自分は高水高校出身ではないが、2年間学校関係者評価委員を務めさせて頂き、それまで高水高校に抱いていた暗いイメージが払拭されたとともにとても明るいイメージを抱くようになった。生徒はよく挨拶ができ、礼儀正しい生徒も多い。
- ③ 通塾率が、特に付属中学校や六年制普通科の生徒に高いというデータがあるようだが、塾に行かなければ学力が身につかないということであれば、保護者にとっては高水学園に通わせることがとてもネックとなる。学校の授業を受けることで、学力を身につけさせてほしい。
- ④ PCやタブレットを使った授業が展開されるなど、教育効果を高める努力がなされているようである。今後ともそれらを十分に活用して、教育の質の向上を図り、2020年のいわゆる大学入試改革に向けて、それに対応できる学力を身につけさせてほしい。
- ⑤ 学校行事のなかでも、特に修学旅行には生徒は全員参加しているのだろうか。地元の小学校では、経済的理由で参加出来ない生徒がいると聞いた。
- ⑥ 新学習指導要領に向けて、高水高校の対応は準備されているのだろうか。
- ⑦ カナダやオーストラリアからの国際交流の生徒の受け入れを、普通科の生徒にもよく宣伝して受け入れるよう配慮してほしい。英語力(特に会話力)がなければホストファミリーとしての資格が与えられないと聞くがなんとかならないだろうか。
- ⑧ 他校と比較して、高水学園はよく社会的な活動に参加していると思う。また、進路指導について各家庭との情報交換がよくなされてきていると思う。今後ともその姿勢を維持してほしい。
- ⑨ 保護者学校アンケートのなかで、「生徒指導が行き届いている」という項目が、科によっては昨年よりもマイナス評価になっているところもある。生徒一人一人に適切な生徒指導を実施して頂きたい。
- ⑩ 保護者学校アンケートのなかで、「ボランティア活動への積極的な参加」の項目が低い評価となっているように思える。どのような原因が考えられるのか。
- ⑪ 「いじめ」＝「犯罪」という考え方を、道徳の授業などを通してもっと生徒の教育に徹底させるべきではないだろうか。
- ⑫ 企業人としての立場から見たとき、推薦入試等(学力を試さない入試)で大学に入った学生はあまり企業では戦力にならない。もっと、高校で学力を身につけさせて大学に入学させてほしい。
- ⑬ 自転車通学生で、自転車保険に加入していない生徒の割合が高いという話を聞いた。さらに、高水の生徒の自転車マナーの悪さも岩国市内ではワースト2らしい。自転車通学生のマナー指導の徹底と、自転車保険加入の徹底をはかるべきである。